

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 8 月 19 日

【評価実施概要】

事業所番号	0570206748
法人名	株式会社メデカジャパン
事業所名	のしろケアセンターそよ風
所在地	秋田県能代市落合字古悪土1-228 (電話) 0185-89-5161
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成21年8月19日

【情報提供票より】 (平成21年7月2日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年6月15日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23 人	常勤 21人, 非常勤 2人, 常勤換算	3.3人

(2) 建物概要

建物構造	平屋	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円
敷金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	450 円	昼食 500 円
	夕食	450 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (7月2日現在)

利用者人数	27 名	男性 4 名	女性 23 名
要介護1	4	要介護2	4
要介護3	7	要介護4	5
要介護5	1	要支援2	6
年齢	平均 86 歳	最低 71 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山本組合総合病院、鈴木歯科
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

米代川沿いにデイサービス、ショートステイ等の併設施設と共に開設された3ユニットのホームであり、全国展開の会社が経営されています。会社の特徴を活かし、研修等でスキルアップが図られ、職員の質の向上に努めております。ホームには、天然温泉を引き、形態の違う各ユニットでの入浴やデイサービスの浴槽の活用で、態様や希望に沿った入浴支援が行われている他、複数ユニットの特徴を活かされ、緊急時の応援や互いに刺激し合うことによる意識の高揚、レベルアップに繋がっています。また、利用者の健康管理に努められ、食事、受診、入院時の対応支援に力を入れておられます。詳細なアセスメントの下、ケアプランが作成され、利用者の意向を重視され、外出や外食、行事等への参加によって、地域の中で、最後までその人らしく生活が出来るように、尊厳を持ち、温かく心のこもったケアに取り組まれているホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	ホームの設置地域近隣に民家が殆どなく、地域交流が希薄で働きかけも行われていない状況でしたが、今回は、積極的に地域に向き、交流を図られておりました。また、定期健康診断の項目が今回評価ではありませんでしたが、小さな変化も見逃さず、受診に結びつける等の取組みが観られました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取組み状況 (関連項目: 外部4)
	各ユニットリーダーがスタッフや家族・実習生等の第三者から意見を聴取し、リーダーと副リーダーが中心になり、記載されています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議が、行政、自治会長、民生児童委員、家族代表、職員がメンバーとなり、2～3か月に1回開催され、ホームの現状報告、行事予定・報告、避難訓練、内部の体制報告、広報誌、その時々話題等を提供され、活発な意見交換が行われ、サービスの向上に活かしておられます。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	意見箱の設置や面会時に意見や苦情、要望等の引き出しが行われておりますが、件数も少なく、アンケート等による方法に切り替え、より多くの意見等がいただけるように工夫され、取り組まれようとしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	併設事業所への歌や踊りのボランティア、園児や小学生との交流を共有し、花火大会や港祭り、案内のある民謡ショーなど、地域行事へは積極的に参加され、運営推進会議においても、自治会長を通し、災害対策への協力や交流の働きかけを行っています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	各ユニット共通の理念を掲げ、「最後までその人らしく」暮らし続けられるよう支援をさせています。	○	現在の理念に加え、さらに、地域密着型としての理念への取り組みを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	夜勤者から日勤者への申し送りが行われた後、理念を唱和され、実践に向けて取り組まれておられます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設事業所に見える歌や踊りのボランティア、園児や小学生の訪問時に、一緒に交流が図られている他、花火大会や港祭り等の地域の行事への参加、さらに案内のある民謡ショーへも積極的に参加をされ、交流が図られるように努められておられます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価の意義を理解され、評価を基に話し合わせ、改善に向け、面会者、実習生等に第三者の意見も取り入れる等、質の向上に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、自治会長、民生児童委員、利用者家族代表、職員によって構成され、2～3月に1回、グループホームの現状報告、内部体制報告、今後の予定、その他の次第に沿って、話し合いや意見交換が行われ、サービスの向上に活かした取り組みをされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話にて、運営面での相談や助言をいただく等の連携が図られています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、状態変化時等は電話で、また、毎月の預かり金状況の報告、請求書送付時に各担当職員によるお便りで、暮らしぶりや健康状態等の状況報告が行われています。さらに、毎月発行の「そよ風新聞」や個々の写真も送付されております。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や面会時にご意見や要望を引き出す等の取り組みはすでに行われておりますが、さらに、アンケート等によって家族等の意見が反映できるように取り組み方を考えられています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニット間の異動は、常日頃より繋がりがあり、大きな混乱もなく済んでいます。また、退職等の場合は、職員のフォローによって馴染めるように、ダメージを防ぐ配慮がされています。さらに、職員の異動については、お便りによって家族に伝えられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、勉強会が開催されています。外部研修へは、希望や研修内容によって参加が出来、勉強会において報告が行われています。また、参加できなかった職員へは、書面にて報告が行われています。更に資格取得の為に助成制度を設ける等、優れた取り組みもみられます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のグループホーム協会での意見交換が年に数回行われている他、同社で展開している同事業所同士の勉強会に参加し、サービスの質の向上に活かした取り組みをされています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、見学によってホームの状況を理解していただいております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントによって得た情報を元に生活歴やこれまでの生き方を理解され、人生の大先輩として、日々の生活の中で、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントによって一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向が引き出せるように日々の何気ない会話から、把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや意向、家族の要望等、日々の申し送りや定期カンファレンス・モニタリングで詳細なアセスメント・状況把握に努め、職員の意見を取り入れた利用者本位の計画書の作成が行われています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状況に応じ、落ち着いておられる方は1年の長期的なプランとされ、毎月のカンファレンスで話し合いが行われ、モニタリングは3か月毎に実施されております。また、状態変化時には、随時の見直し、プランの変更が行われております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	3ユニットの機能を活かし、緊急時や外出等の大きな行事時には、協力体制がとられています。また、各ユニットの特徴を活かし、利用者の希望の浴槽への入浴が出来るように、柔軟な対応も行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関への受診や緊急時の対応が行われていますが、他に希望のかかりつけ医への受診対応も行われております。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	往診や訪問看護等の受け入れは無く、ホームとしての限界があることを利用者家族等にご理解いただき、ホームで対応できる生活レベルかどうか、医師、家族と繰り返し話し合いが行われ、今後の方針が決められております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ミーティング時、言葉の掛け方や対応によって、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接するように話されています。また、書類等は鍵のかかる場所に保管され、個人情報についても十分に配慮された対応が行われています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意向に沿ったケアプランを基に、決められた日課を持たず、利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各ユニット毎に食材切りや下ごしらえ等が楽しみながら行われ、下膳や茶わん拭き、味付け等に一人ひとりの好みや力を活かされています。	○	朝夕は、職員も一緒に食事を摂られています。昼食は、同一の食事を摂られていません。一緒に同一の食事を摂ることの意義を理解され、一緒に摂られるための工夫を期待します。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	温泉を引き、週3回は入浴ができ、希望時にはいつでも入れるように支援されています。また、各ユニットの浴槽形態に工夫があり、希望に応じた浴槽での入浴を楽しむことができます。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や残存機能・能力を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、掃除やピアノ、歌、日記をつける、お花を植えて育てる等の楽しみごとも含めた場面づくりが行われています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車通りの少ない環境を活かし、日常的に散歩が行われている他、買い物やドライブ、外食等、季節毎の楽しみや利用者の要望に沿って、積極的に外出支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中・夜間を対象とした避難訓練が年に各1回行われており、運営推進会議においても、実施計画、実施状況の報告が行われています。また、この秋には、スプリンクラーの設置も予定されています。	○	民家から離れた場所に位置していることから、各ユニットや併設事業所の協力体制を確保され、職員が手順に沿い、利用者の安全の確保に努めることが出来るように訓練の工夫を期待します。また、地震や水害等についても検討されることを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によって栄養バランスのとれた献立が作成され、毎食のカロリーの提示もあります。それを基に各ユニットが工夫し、調理が行われています。食事摂取量や水分摂取量のチェックが行われ、健康管理が行われております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、季節感あふれる装飾品や季節の花が飾られ、家庭的でゆったりとくつろげるソファやテレビの配置、みんなが一緒に活動できる食堂テーブル等、生活感や季節感を十分に取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人が身の回りで使用していたものやピアノ、ラジカセ、テレビ、座テーブル、椅子、写真等が持ち込まれ、趣味のものや手作りの作品等で装飾され、意向に沿った生活スペースを作り出しています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。